

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上に向け全校統一した組織的な取り組みを実施できたことで、学年が変わっても、児童が見通しを持って学習できるような体制を整えることができた。更にICTを有効的に活用していきながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進め、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に努める。</li> <li>全学年において外部人材を活用し、地域に根ざした体験的活動を実施することができた。次年度も地域の人的・物的資源を探り、体験的活動を実施することを通して、児童の豊かな心の育成につなげていく。</li> <li>保健体育部を中心に校内持久走大会や防煙教室、薬物乱用防止教室、歯みがき指導等、保健・体育的行事の取組を計画的に実施することができた。また、「食」においても栄養教諭を中心に栄養に関する指導をすることができた。</li> <li>業務改善・教職員の働き方改革については、教職員一人一人の意識改革のもと、組織的に実施することができている。教職員の年齢差が大きく、若手教職員も多いため、更に「チーム西唐津」として、児童の育成のために組織的に対応していく。</li> <li>校区内3園や中学校との交流会を通して、保小中で情報を共有し、連携を推進することができた。今後も引き続き、連絡を密にしていながら、児童が安心して学校生活を送ることができるような体制を整備していく。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>「人・もの・こと」に関わりを持ち 心豊かに育つ西唐津っ子 ～にこ・きび・はき・どん～</p> <p>・にこにこ…笑顔であいさつと返事      ・きびきび…気づき考え実行      ・はきはき…よく聞き考え話す      ・どんだん…新しいことへの挑戦</p>
3 本年度の重点目標	<p>知：やる気⇒①子どもが活躍する授業づくり ②基礎基本と学習習慣の定着 ③学習規律と学習意欲の確立 ④新時代に対応した教育の確立 ⇒『学力向上に積極的に取り組みます』</p> <p>徳：ほん気⇒①温かい学校・学級づくりの推進 ②基本的な生活習慣の育成 ③特別支援教育の充実 ④体験活動の充実（キャリア教育の推進） ⇒『「人・もの・こと」に関わる心を育てます』</p> <p>③体：げん気⇒①体づくりの推進 ②健康指導の充実 ③食育の充実 ④危機管理体制の確立（カリキュラムマネジメントによる防災教育・安全教育の推進） ⇒『安全・安心な学校づくりに取り組みます』</p> <p>④家庭・地域・保小中・関係機関等との連携を推進する。「地域とともにある学校～チーム西唐津の推進～」</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善による学力向上対策 ・単元のゴールとプロセスデザインの見える化 ・協働的な学びの充実 ・ICTの活用場面の設定	○個別最適な学びと協働的な学びを推進する唐津の学びスタイルチェックシートによる振り返り、平均3点以上。	・定期的に校内研修会等で、学びスタイルの進捗状況を確認する。また、他の学年と進捗状況を共有し、更新する取組の促進を図る。 ・ICT推進教師やICT支援員と協力をして、ICT利活用に係る研修会を開催する。							教務・研究主任
	●「出会って、かかわって、つくりあげよう～尊重し合う友だち関係づくりをめざして～」をテーマに豊かな心の育成	○「友だちに対して思いやりの気持ちをもって優しくしていますか。」について、肯定的な回答をした児童が90%以上とする。	・縦割り活動やボランティア活動を通してお互いを思いやる経験を積めるようにする。 ・児童の善い行いに気づいた児童が「ほめほめカード」を書いて掲示したり、全校放送したりすることで児童のよさを認める温かい雰囲気作りをする。							特活部 人権・同和教育担当者 道徳教育推進教員
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実とともいじめの見逃し0)の体制構築	○「いじめを夏休み気づいたら、止めるようにしたり、大人に伝えたりしていますか。」について肯定的な回答をした児童を90%以上とする。 ○「いじめの未然防止、早期発見・対応ができるよう、組織的な指導や取組を行っている」について肯定的な回答をした教職員を95%以上とする。	・いじめアンケートや毎月月初めの「西小アンケート」の結果をもとにいじめの早期発見と見逃し0)に努め、担任・生活主任、SC、SSW等と連携して迅速・適切に解決に当たり、再発防止に努める。							生活部 生徒指導主任 教育相談担当
	◎児童が自分の夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取組もうとするための見学や体験活動の充実	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童を85%以上とする。	・地域の人・もの・ことに関する交流を通して学ぶ体験活動を各学年、年3回以上実施する。 ・キャリアパスポートを計画的に活用する。							教頭 教務
●健康・体づくり	○「ほめるから、はじめる。はじまる」の合言葉を意識した教育活動	○「児童のよいところを見つけ、ほめるような声かけができていますか。」について肯定的な回答をした教員を90%以上とする。	・定期的に校内研修会等で、児童への関わりについて教職員同士が情報交換をする。 ・「ほめほめカード」の取組において、児童同士だけではなく、先生から児童への言葉かけを全校放送で紹介する。							特活部 人権・同和教育担当者 道徳教育推進教員
	○「心身ともにたくましい西唐津の児童の育成」をテーマに運動習慣の改善と定着化	○「外で遊べる日は、外で遊んでいますか。」の質問について肯定的な回答をした児童を90%以上にする ○運動前後における自己の健康管理の意識を確実にもたせる。	・体育委員会からの放送や担任からの呼びかけを継続し外遊びを奨励する。 ・体育学習の工夫(カリキュラムの工夫)を行い、体育の授業や体を動かすことが好きな児童を増やす。とともに、健康観察カードによる健康管理に努める。							保健部 保健部主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」をテーマに学校における食育を推進	○「早寝、早起き、朝ご飯ができていますか。」の質問項目について肯定的な回答をした児童を80%以上とする。 ○食事・健康に関する意識調査において、「健康に良い食事をしている」と考える児童90%以上とする。	・早寝、早起き、朝ご飯の取組を家庭と連携して行い、望ましい食生活を身に付けさせる。 ・定期的に食生活アンケートを実施する。							保健部 給食指導担当 栄養教諭 ※他校と兼務
	●時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間(月45時間)を超える教職員の割合30%	・毎週金曜日を定時退勤日とし、全職員で意識し、声を掛け合う。 ・時間外在校時間の多さが常態化している職員については、管理職が個別に声を掛ける。							教頭
●特別支援教育の充実	○業務の効率化の推進	○個人ではゴールと優先順位、組織としては行事の精選と業務の縮減に取り組み、効率化が進んだという教員を70%以上とする。	・校務サーバーを整理し、これまでの文書データを効果的・効率的に活用できるようにする。 ・校務を整理し、諸問題に対してチームとして対応できるようにする。							
	○共生社会の形成に向けた校内支援体制の充実と環境の整備	○各学期初めに、児童の活動が見える教室環境を整える。 ○アセスメントを行い、必要な支援につなげる。 ○「支援を要する児童に対し、研修会を踏まえ適切な対応を取るよう努めている」の質問項目について肯定的な回答をした教員を90%以上とする。	・複数の教員によるアセスメントをもとに保護者と合意形成を図りながら、必要な支援を進めていく。 ・特別支援教育に関する研修会を定期的に行っていく。							特別支援教育コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○幼保小連携	○小中学校9年間の一貫した授業形態による小中連携の推進。	○「授業づくり1・2・3」を活用した主体的・対話的な学びを取り入れた授業を実践している」と回答した教員80%以上とする。	・中学校との連携は9年間というスパンを見据えながら計画を立て、内容の充実も図っていく。 ・年3回以上、小中交流会を実施し、「授業づくり1・2・3」を活用した主体的・対話的な学びを取り入れた授業を公開する。							教務 教頭
○安全に関する資質・能力の育成	○カリキュラムマネジメントによる防災教育・安全教育の推進	○「自分の住んでいるところや通学路で危ない場所を知っている。」という質問項目について肯定的な回答をした児童を80%以上とする。 ○ハザードマップを知っている児童を80%以上にする。	・中学校と連携し、西唐津中学校区の自然災害の危険性について学習をする。 ・ハザードマップ等を利用して、校区の危険箇所を調べ、自然災害時の避難の仕方について確認する。							教頭 生活部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>									